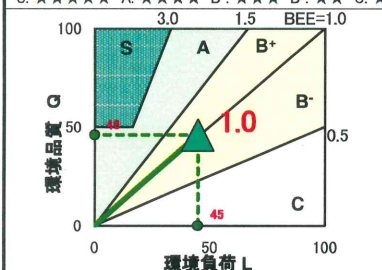
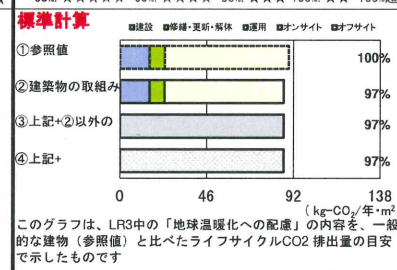
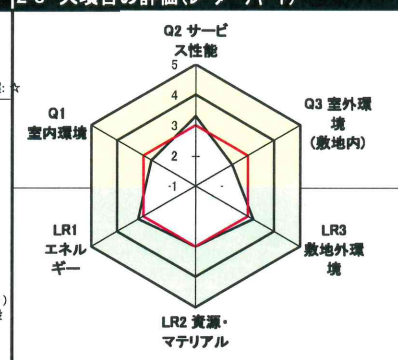
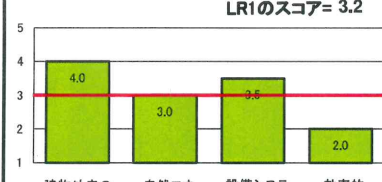
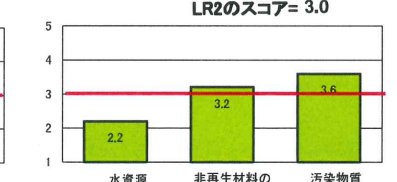
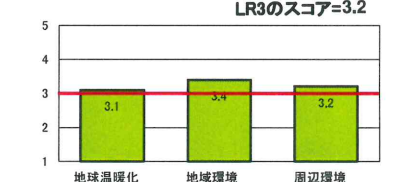


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)山陽特殊製鋼株式会社 独立型賃貸住宅	階数	地上3F		
建設地	兵庫県姫路市飾磨区細江字柳181番地	構造	S造		
用途地域	法第22条区域	平均居住人員	78 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2023年3月15日		
敷地面積	4,771 m ²	作成者	岸本 成文		
建築面積	1,026 m ²	確認日	2023年3月16日		
延床面積	2,667 m ²	確認者	岸本 成文		
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE=1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 					
2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質			Q のスコア= 2.8		
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境(敷地内)	
Q1のスコア= 2.7		Q2のスコア= 3.3		Q3のスコア= 2.4	
					
LR 環境負荷低減性			LR のスコア= 3.2		
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
LR1のスコア= 3.2		LR2のスコア= 3.0		LR3のスコア= 3.2	
					
3 設計上の配慮事項					
総合			その他		
省エネルギー基準に適合する仕様とし、建物外皮の熱負荷抑制に配慮した。			特になし		
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境(敷地内)	
居室床面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保し、利用者の健康・快適性に配慮する。		カテゴリ6のLAN配線(cat6)を居室内まで設け、高度情報通信に対応可能とする。		建物周囲に緑地を複数箇所設け、地域に配慮すると共に、敷地内温熱環境の向上に配慮する。	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
LED照明の採用により省エネルギー基準適合を図る。		環境負荷の少ない発泡剤を採用する。		広告物照明を行わない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される